

令和2年度

(2020年度)

事業報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

【令和2年度(2020年度)事業報告】

公益財団法人吹田市国際交流協会(以下、協会)の令和2年度(2020年度)の事業の特徴は、以下のとおりです。

第一に、新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度内に二回の緊急事態宣言の発出があり、各種事業を段階的にオンライン化していくことに取り組みました。特に、日本語学習教室は、直接的に在住外国人市民の生活に影響を及ぼすため、早急にオンラインへ移行しました。遠方に在住の人と交流するなどオンラインの利点もある一方、様々な理由でオンラインに対応できない人たちとのつながりや支援にどう取り組むのかという課題も出てきました。

第二に、「生活者としての外国人」のための日本語教育事業「つくって×たべて」そしてつながる日本語;「多文化つくたべプロジェクト」を文化庁より受託しました。昨年度日本語支援ボランティアと協会が共同で作成した「日本語交流活動宣言」にもとづき、日本語で伝えあう「多文化つくたべ準備教室」の開催をし、そして参加者みんなで作って食べて楽しんで、相互理解を深める交流会を開催しました。感染症拡大の中、ボランティアとともに感染予防のための工夫を重ね、在住外国人市民と地域をつなげる役割を果たしました。成果として発行したレシピ集も大変好評です。

第三に、中島平和記念財団より助成を受け、留学生対象事業「やってみなはれ★in SUITA」を実施しました。感染症拡大の影響により、対象を来日したばかりの留学生から在住留学生へ変更し、地域の人びととの交流を目的に、JR吹田駅近くの旭通商店街組合や高浜神社、国際交流ボランティアサークル、コスプレ任意団体、元留学生等と連携して事業計画を進めました。感染予防の観点から、計画の全てを実施することはできませんでしたが、オンラインも併用し、留学生と地域の交流、そして協会と吹田市南部地域との交流をはかることができました。

第四に、大阪府国際交流財団の防災・災害時訓練事業を吹田市公益活動センター(以下、ラコルタ)と共催で実施しました。令和2年度は、先ず協会とラコルタの職員、ならびに市の所管と危機管理室の職員を対象に研修を実施しました。在住外国人市民への防災意識の啓発、災害時に協会が多言語支援センターの設立と運営ができるよう、本年度も防災事業を継続していきます。

第五に、コロナによって生活に悪影響を受けている在住外国人市民を対象に、吹田市社会福祉協議会(以下、吹田社協)と共催して、令和3年3月に2回食料配布と困りごとを聴くための事業を実施しました。

第六に、適切な時期に正確な情報を発信するために、ホームページのリニューアルに取り組んでいます。

令和2年度は、協会の「多文化共生アクションプラン〈令和2年度に始める中長期計画〉」の2年目になりますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防への対応で、アクションプランを実現していくことができていません。一方で、吹田市の外国人人口は過去5年で約30%増加しており、これまで以上に協会に対して社会から求められる役割が増えてきています。協会として、中長期計画書の実現に向け、人材の育成と確保など組織の基盤強化と他機関との連携を丁寧に進めていきます。誰一人取り残されない吹田市の多文化共生社会の実現のために邁進します。コロナによる語学事業の収益減によって急激に悪化した財政状況の改善も喫緊の課題であり、助成金や補助金の確保、あらたな収益事業の立ち上げなどにも取り組んでいきます。

【実施事業内容】

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合う地域社会の実現を推進します。

1. 友好交流都市との交流事業(吹田市補助金事業)

オーストラリアのカンタベリバンクスタウン市とスリランカのモラトワ市との交流事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、事業は実施していません。本年度は、オンラインによる児童・生徒を中心とした交流事業を検討しています。

ボランティアより、留学生や外国人市民、そして姉妹都市の方々へとたくさんの手作りマスクを寄贈されました。カンタベリバンクスタウンよりマスクは着用しないとの連絡があったため、モラトワ市に合わせて送付します。

2. 国際交流情報の収集及び発信(ホームページのみ吹田市補助金事業、他は自主事業)

(1) 会報SIFA Timesの発行

年4回、各回1,800~2,100部を発行しました。

(2) 国際交流情報の収集及び発信

多言語のホームページとフェイスブック、留学生や在住外国人向けの多言語メーリングリスト「ミミヨリINFO」などの活用により、適切な情報発信に努めました。

(3) ホームページのリニューアル(吹田市補助金事業)

従来のホームページのシステムが、多言語による情報を適切な時期に正確に発信することが難しいため、リニューアルをすることになりました。

3. 市内大学との連携による留学生等との市民の交流(吹田市補助金事業)

市内の大学などのホストファミリープログラムの支援(吹田市補助金事業)は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、留学生の来日が困難となり、事業は中止となりました。例年実施してきたホストファミリーボランティア説明会兼研修会と、ホストファミリー交流会も併せて中止しました。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生の理解者を増やししながら、未来を担う子どもたちにも様々な体験学習の場を提供し、グローバルに活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援(吹田市補助金事業)

(1) 国際交流ボランティア登録

初めてボランティア活動をしようとする希望者に、ボランティア活動に関するセミナーを実施。その後、協会の理念や活動内容について説明し、協会の国際交流ボランティア登録を実施しました。(オンライン)

「はじめてのボランティア活動」 講師:伊富貴順一(ラコルタ)

日程:2月23日(火・祝)

参加者:37名 新規ボランティア登録者:20名

(ボランティア登録者:242名 (うち外国籍者:30名))

(2) ボランティア講座

- a. 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、Zoomを使用する機会が増加してきたので、SIFAで活動するボランティアおよび語学教室受講生などを対象に、Zoomの基本的な使い方を学ぶ講座を2回開催しました。(オンライン)

「Zoomを使ってみよう」 講師:河合大輔、坂口ピーター((公財)箕面市国際交流協会)

日程:8月11日(火)、25日(火)

参加者:8月11日 21名・25日 25名

- b. SIFA日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの簡単なガイダンスを実施しました。希望者が参加しやすいよう、同じ内容の講座を平日と土曜日に2回実施しました。(オンライン)

「はじめての日本語ボランティア」 講師:榎原智子(SIFA日本語教室講師)

日程:8月26日(水)、29日(土)

参加者:23名(26日11名、29日12名)

(3) ボランティアによる日本語学習支援

昨年度ボランティアと協会が共同宣言した日本語交流活動を通して、ボランティア自身が日本文化について理解を深め、学習者とともに学び合い育ち合う機会となりました。

- a. 日本語チューター

ボランティアと学習者が1対1または1対2で日本語習得支援を行うクラス。学習者の日本語レベルや要望が多様なため、それぞれに寄り添った支援をしました。

日程:5月~3月(※4月はコロナの為に休止、5月~8月はオンライン個別マッチング、9月から通常クラス再開)

朝クラス:24回、昼クラス:24回、夜クラス:25回

場所:SIFA、ラコルタ / オンライン

参加者:朝クラス:延べ 141 組、昼クラス:延べ 120 組、夜クラス:延べ 274 組、

オンライン個別マッチング:延べ 450 組

参加費:月 500 円(オンライン個別マッチングは無料)

b. にこにこ日本語

外国人学習者とボランティアが小グループで、SIFA が作成した対話型教材「はじめてのにこにこ」と「にこにこ」を使用して、生活に密着したさまざまなテーマでのおしゃべり活動を通して日本語習得支援をしました。

日程:全 24 回(4~8 月はコロナのため休止、9 月から通常クラス再開 / オンライン併用)

場所:SIFA、ラコルタ、千里市民センター / オンライン

学習者:延べ 201 名(オンライン 1~2 月 49 名)

ボランティア:延べ 260 名(オンライン 1~2 月 65 名)

参加費:月 500 円

c. みんなの漢字

外国人学習者とボランティアが小グループをつくり、プリント教材を使って、生活のさまざまな場面で目にする漢字を学ぶクラス。

日程:全 18 回(※4~8 月、12 月 12 日~2 月 27 日 コロナの為に休止)

場所:SIFA

学習者:延べ 113 名 ボランティア:延べ 119 名

参加費:月 500 円

d. 日本語わいわい

外国人学習者とボランティアが小グループで「わいわい」とおしゃべりをする事で、日本語習得支援をするクラス。外国人ボランティアが日本で暮らす「先輩外国人」として参加しました。

日程:全 30 回(※4~8 月はコロナの為に休止、9 月からオンラインで活動再開)

場所:SIFA、ラコルタ / オンライン

学習者:延べ 143 名 ボランティア:延べ 279 名

参加費:1 回 100 円

2. 語学教室(自主事業)

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外

国語に慣れ親しむことをから国際理解に対する理解を深め、地域でともに生活する隣人としての外国人市民への支援の重要性を伝えました。また、子どもたちには英語学習を通して国際理解と多文化共生への関心を深め、グローバル人材の育成にも努めました。昨年度に引き続き、旭通教室での授業を継続しました。(通年クラスの人数は2021年1月現在)

※休講期間：①4月6日～6月13日(緊急事態宣言の要請対応)、②12月7日～12月22日(大

阪府医療非常事態宣言の要請対応)

(1) 通年クラス

a. 通年クラス・大人

英語 (Hosea Lee BakerⅢ、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay、Ruben Valles)

21クラス(旭通教室1クラス) 受講者:165名

中国語 (仲井雪代、山口小百合)

2クラス(旭通教室1クラス) 受講者:9名

韓国朝鮮語 (朴家英)

3クラス 受講者:21名

b. 通年クラス・子ども

親子(幼児)英語 (Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Hosea Lee BakerⅢ)

4クラス 受講者:21組

小学生英語 (Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Ruben Valles)

15クラス(旭通教室2クラス) 受講者:88名

中学生英語 (Ruben Valles)

1クラス 受講者:3名

高校生英語 (Ruben Valles)

1クラス 受講者:1名

(2) 短期クラス

a. 英語でCHAT (Nhon Nguyen)

日程:6月19日～7月17日 全5回 受講生:3名

日程:10月2日～12月4日 全10回 受講者:5名

日程:1月8日～3月12日 全10回 受講者:7名

b. 多言語アワー

スペイン語 (Valles Ruben)

日程:10月6日～11月17日 全6回 受講者:10名

タイ語 (笹川コブ)

日程:2月5日～3月12日 全6回(4回オンライン) 受講者:6名

c. 親子でシング&チャンツ(Valles Ruben)

日程:10月5日～12月7日 隔週・全5回(1回休講) 受講生:3組

日程:10月12日～12月14日 隔週・全5回(1回休講) 受講生:3組

日程:1月12日～3月16日 隔週・全5回(3回オンライン) 受講者:4組

日程:1月19日～3月23日 隔週・全5回(3回オンライン) 受講生:5組

d. 英語で探る Japan now (Marc-Eric Tremblay)

日程:11月4日～3月17日 全18回(6回オンライン) 受講生:8名

(3) サマーコース(Rodger James Douglas)

a. 小学校1～2年生クラス

日程:7月28日～30日 3クラス 受講生:22名

b. 小学校1～2年生クラス(経験者)

日程:7月28日～30日 1クラス 受講生:10名

c. 小学生3～6年生クラス

日程:7月28日～30日 3クラス 受講生:22名

3. 異文化理解・啓発事業(吹田市補助金事業)

(1) 多文化共生セミナー「多文化な日本を知る」(多文化まつり代替企画)

コロナのために多文化まつりが中止となりました。代替企画として、「多文化な日本を知る」というテーマで全4回のセミナーを実施しました。さまざまな分野で地域に根ざした活動をしている講師が、日本における多文化社会について講演しました。対面での開催を予定していましたが、第2回～第4回まではオンライン開催とし、参加費は無料としました。

第1回 「日本で働く私たちのホンネ」 講師:イブラギモブ ショハルフベック(ヤンマー)

日程:10月24日(土) 場所:ラコルタ 参加者:16名

第2回 「違いがあってもココロは一つ～多文化共生社会一歩進む～」 講師:譚俊偉(総社インターナショナルコミュニティ)

日程:1月24日(日) (オンライン) 参加者:12名

第3回 「コロナ禍での外国人市民を取り巻く環境～あなたはこの実情を知っていますか」
講師:金光敏(NPO 法人コリア NGO センター理事兼事務局、Minami こども教室 実行委員)

日程:2月7日(日) (オンライン) 参加者:14名

第4回 「介護・農業の現場から考える地域社会」 講師:フフデルゲル(介護従事者、神戸市)、ラマカンチャ(農業従事者、佐賀県唐津市)、ファシリテーター:村上典子(NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会)

日程:2月28日(日)(オンライン) 参加者:6名

(2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」

国籍や文化、ことばの違いを認め合い、共に暮らす多文化共生社会とはどんな社会なのかについて考え理解を深めることが講座の主な目的でした。

第1回 「多文化の職場で働くということ-国際機関の現場から」

講師:松田裕美(ユニセフ・ヨルダン駐在職員)

日程:11月21日(土)(オンライン) 参加者:9名

第2回 「在住外国人と語り合う～ともにくらす地域のこと～」

講師:崔聖子、タナヤ ムカルジー(チーム・モイ)

日程:11月29日(日) 参加者:10名

場所:吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷

(共催:特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会)

4. 子ども国際理解事業(吹田市補助金事業)

出前授業「国際理解パッケージ」低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「食べもの編」「モノ編」の3種類を、吹田市教育委員会の予算で行う「ドキドキワールド」の授業として吹田市内の小学校で実施した。「がっこう編」は今年度新しく開発したパッケージであったが、今年度の実施はありません。パッケージの構成は、コーディネーターによる各テーマ(食べもの等)の日本と世界のつながりについての話とそれに関連したクイズ、外国人講師によるプレゼンテーション、そして子どもたちからの質問コーナーです。

コーディネーター(有償ボランティア2名)、外国人講師

全6件10回実施

日程:11月13日(金)1回 吹田市立岸部第一小学校3・4年生2クラス 78名

「食べもの編/バングラデシュ」

日程:11月13日(金)1回 吹田市立岸部第一小学校6年生2クラス 45名

「モノ編/台湾」

日程:12月11日(金)2回 吹田市立山田第三小学校5年生2クラス 57名

「食べもの編/イラン」

日程:12月17日(木)2回 吹田市立古江台小学校6年生3クラス 87名

「モノ編/バングラデシュ」

日程:2月3日(水)2回 吹田市立江坂大池小学校6年生2クラス 64名

「モノ編/台湾」

日程:2月19日(金)2回 吹田市立江坂大池小学校4年生2クラス 68名

「食べもの編/韓国」

5. 国際交流団体など支援・連携事業

(1) 共催・協賛事業の実施及び名義後援(市民グループなどとの協働及び連携)(自主事業)

a. 共催事業の実施

- ・「多文化共生社会における防災・災害時研修 2020」(公益財団法人大阪府国際交流財団、ラコルタ共催事業)

災害時における外国人支援の理解と今後の備えについて理解を深め、協会や地域の課題を明らかにすることを目的に実施しました。また、外国人市民への防災パンフレットをベトナム語、ネパール語、タガログ語に翻訳しました。

日程:11月13日(金) 場所:ラコルタ

参加者:22名

講義:①「吹田市の外国籍市民の状況」講師:協会、②「災害時の外国人支援活動」講師:高木和彦(NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事)、③「吹田の災害リスク」講師:柴野将行(吹田市総務部危機管理室)

グループワークショップ:①外国人住民に対する防災教育、②災害発生時のキーパーソン作り、③具体的な支援体制の構築、④その他、各グループの代表が内容を発表し、課題の共有

- ・「OTAGAISAMA プロジェクト」(吹田社協との共催事業)

赤い羽根共同募金より社協が食料品を購入し、コロナの影響により帰国できない、仕事を失ったなど、生活が苦しくなっている吹田市在住・在勤・在学の外国人市民を対象に、SIFAを会場として食料品配布と困りごとの相談、SIFAのミミヨリINFOの登録などを勧め、広く情報提供ができるよう努めました。

日程:3月18日(木)、3月27日(土)

参加者:18名(3月18日 11名、3月27日 7名)

- ・「多文化ぶらす」第2回 ※詳細は、3. 異文化理解啓発事業 イ.に記載しました。

b. 協賛事業の実施

本年度は実施しませんでした。

c. 名義後援

- ・「ワークショップ&講座 「多言語で育む未来」

主催団体:(一財)言語交流研究所 ヒップファミリークラブ

日程:11月7日~12月13日まで 場所:ラコルタ 他

- ・「Winter Concert of Hopeー希望の冬のコンサート」

主催団体:ホープ・フォー・ジャパン

日程:12月26日(土) 場所:ESAKA HALL

(2) 協働及び連携事業の実施(国際交流組織などとの協働及び連携)

a. 「国際交流協会ネットワークおおさか」への参加(自主事業)

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」(構成11団体)に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、様々な情報を相互交換し、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

・ 定例会議

4月10日、6月12日、7月17日、8月21日、9月4日、10月2日、11月6日、
12月11日、1月14日、2月19日、3月26日

場所:大阪国際交流センター(オンライン併用)

構成団体:池田市市民生活部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(公財)吹田市国際交流協会、(公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会、(公財)箕面市国際交流協会 / オブザーバー:大阪府都市魅力創造局国際課、堺市文化観光局国際部国際課、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会

・ 大阪弁護士会との連携事業

研修会及び座談会「コロナ時代の相談対応について」

講師:井笹雅仁(大阪出入国在留管理局)、原啓一郎(弁護士)

日程:9月4日 場所:大阪国際交流センター 参加者:22名

・ 外国人のための法律相談会

日程:1月24日 場所:箕面市多文化交流センター 相談件数:11件(8カ国)

・ 研修企画

「行政文書作成研修会」 講師:韓昌一(堺市文化観光局国際部国際課)

日程:12月11日 場所:大阪国際交流センター 参加者:18名

「相談員研修会」

日程:11月20日 講師:山本愛(とよなか国際交流協会)

日程:2月9日 講師:山中京子(大阪府立大学)

場所:とよなか国際交流センター 参加者:40名

・ ワークショップ「近畿発!今、あらためて“多文化共生”を問い直す(Part3)~「反うわさ戦略」を学ぶ」 講師:上野貴彦(一橋大学大学院 社会学研究科博士課程後期)

日程:1月22日 場所:とよなか国際交流センター 参加者:27名

b. MUSEたかつきカレッジクラブ講座「Easy Peasy English」(株式会社関大パンセ委託事業)

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事業は中止となりました。

c. 関西大学別科南千里国際プラザとの連携(自主事業)

春、秋の留学生の入学式、修了式へ臨席、地域の中での受け入れ支援体制について情報提供などに努め、日本社会への理解と地域住民として安心・安全に暮らせるように連携しました。

Ⅲ 在住外国人の支援

地域社会において、地域に暮らす外国人が支援されるだけでなく支援する側となって地域コミュニティを担う人材となるために必要な支援や協働を推進します。

1. 在住外国籍市民のための日本語教室運營業務(吹田市委託事業)

(1) 日本語 1・2

生活に必要な日本語を学ぶクラス。日本語1(入門レベル)と日本語2(初級レベル)を開催。講師がテキストを使って授業を行います。1回90分×週2回。午前中のクラスには、ボランティアに

よる保育を設けています。9月から対面での教室は再開したが、保育は対応が難しいので中止と

しました。12月の大阪府医療非常事態宣言を受けて、再度オンラインにて授業を行い、3月の緊急

事態宣言解除後は対面に戻しました。

講師:後藤範子、榎原智子

日程:日本語1:全66回(オンライン6~7月 17回、12~3月 19回)

日本語2:全83回(オンライン6~7月 34回、12~3月 19回)

※4~5月、12/7 コロナの為休講

場所:SIFA / オンライン

参加者:日本語1 延べ305名(オンライン6~7月 66名、12~3月 81名)

日本語2 延べ577名(オンライン6~7月 159名、12~3月 179名)

(2) サマーコース

入門~初級レベルの学習者を対象に5日間連続の講座を実施しました。当初は教室で実施予定でしたが、直前に対面活動中止となったので、オンラインに切り替え、授業内容も再度組み替えて実施しました。8月は通年クラスがすべて休講のため、今後もサマーコースを継続してほしいとの要望がありました。(オンライン)

講師:後藤範子、榎原智子

日程:8月3日~7日 全10回(入門5回、初級5回)

参加者:延べ 入門19名、初級39名

(3) 日本語教室発表会

吹田市内に在住・在勤・在学する外国人が、日本語で思いを伝え、地域住民と交流を図る機会として、例年実施しています。今年度はオンラインで開催しました。参加者・観覧者からは意外にも好評で、コロナが落ち着いてからも、オンラインでも参加できるよう検討してほしいとの要望がありました。

日程:3月7日(日) 発表者 7名、観覧者 20名

(4) 吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

吹田市内の日本語教室が集まり、情報や課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流をはかりました。コロナ禍での活動の状況や感染対策、外国人の来日状況など、情報交換を行いました。例年は年2回開催していますが、今年度の開催は1回のみで、上半期はメールで情報共有

を行いました。

日程:3月29日(月) 場所:SIFA

構成団体:おしゃべり会、西山田あいうえお、日本語クラブ、たのしい日本語、識字学級文字板クラブ、竹の子にほんご交流会、千里国際友好会、SIFA

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

日本語による会話が十分でない在住外国人市民が、安心して生活するために、言葉の壁により行政や医療機関などを利用する機会が失われないように、市内提携病院や保健センターなどを利用する際のコミュニティ通訳ボランティア病院同行事業や、コミュニティ通訳ボランティア行政同行事業を実施しました。同行謝礼は、1件(同行3時間迄)につき3000円。

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

a. コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

依頼件数:81件(内16件は緊急事態宣言によるキャンセル、3件患者都合による当日キャンセル)

場所:吹田市民病院(35件)、済生会吹田病院(15件)・千里病院(18件)、保健センター(13件)

依頼言語:英語41件、中国語40件

b. コミュニティ通訳関係者会議

コロナ禍における現状の報告と課題について意見を交換しました。

日程:8月4日

参加者:6名(吹田市民病院、済生会千里病院、保健センター、SIFA職員)

(2)コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業(吹田市委託事業)

a. コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業

依頼件数:42件(緊急事態宣言によるキャンセルはなし、4件依頼者都合による事前キャンセル、1件当日キャンセル)

場所:吹田市役所庁舎内(生活福祉室、子育て給付課、市民課、他)10件、市内こども園及び小学校等 32件

依頼言語: 英語 32件、中国語 10件

b. 行政窓口通訳ボランティア養成講座

コミュニティ通訳基礎知識として、通訳者の資質、役割、倫理などを学びます。通訳、スキルトレーニングの倫理と実践、通訳時のメモ取りの方法、サイトトランスレーションなどについて2日間の講座を開催しました。さらに、実際に行政通訳として同行する機会の多い市役所の所管担当者の協力の下、通訳として必要な内容に関する講座と、実際に行政通訳としてのロールプレイを実施しました。

(※当初は対面での研修を予定していたが緊急事態宣言発出によりオンラインにて実施しました。令和3年度中に限り、少数言語のコミュニティ通訳希望者については、録画した講座を受講し、SIFAの試験を合格した人は通訳者としての登録を認めることで人材確保に努めます。)

講師: 水野真木子(金城学院大学)、小嶋政和(吹田市役所国民年金課)、小松亨恵(吹田市役所学務課)、杉本典生(吹田市役所市民課)、小林貴美子(吹田市役所保育幼稚園室)

日程: 1月15~16日(オンライン)

1月18~19日(オンライン、吹田市役所本庁会議室で録画した動画)

参加者: タイ語、ネパール語、ベトナム語の通訳ボランティア登録希望者
(タイ語 1名、ベトナム語 2名、ネパール語 1名)

3. コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修 (吹田市委託事業)

現場で求められる役割・スキルの他、様々なケースを知り、通訳倫理規定を基準に自信を持って通訳が行える知識を付けることを目的として実施しました。よくある現場でのケースを例に、通訳として取るべき方法を共有したケーススタディが好評でした。参加者が積極的に参加し、発言をした研修でした。令和2年度はミーティングの機会が持たず、ボランティア

の普段の様子や情報を十分に聞き取れなかったため、次年度はオンラインツールも使い、顔合わせの出来る機会をつくるのが課題です。

「通訳倫理規定と通訳者の役割」

講師：飯田奈美子(京都市行政通訳相談事業コーディネーター、立命館大学衣笠総合研究機構生存学研究センター客員研究員)

日程：2月19日(金) (オンライン)

出席者および通訳言語：

病院通訳ボランティア 6名 (英語3名 中国語3名)

行政通訳ボランティア 10名 (英語7名 中国語3名)

4. 地域事業への在住外国人の参加促進

(1) 国際交流ボランティア登録によるコミュニティ通訳や翻訳などの活動

(2) 学校、協会等各種セミナーの講師依頼等

(3) 「つくって×たべて」そしてつながる日本語;「多文化つくたべプロジェクト」(文化庁委託事業:「生活者としての外国人」のための日本語教育事業)

① 日本語で伝えあう「多文化つくたべ準備教室」

特定の人が集う「教室」という環境で、外国人とボランティアが共通の目標(=交流会開催)に向かって準備を進めるやりとりの過程で、日本語でのコミュニケーション能力を高め、日本の文化や慣習への理解を深める活動を行いました。コロナ拡大期間はオンラインに切り替えて活動を継続した。互いの文化や考えを尊重し、理解し合える居場所での活動を通して自信をつけることができました。

日程:7月22日～3月3日 全30回(うち3回中止、6回オンライン)

場所:SIFA、ラコルタ、千里市民センター 参加者:延べ146人

② 多文化つくたべ交流会 ～みんなで作って食べて楽しんで、そして知り合おう～

「教室」から「地域」へ活動の場を広げた。“食”という身近なテーマで外国人と地域住民との交流を図った。地域で暮らす外国人の文化や状況に関心を持ち、日本語教育の重要性への理解を深めるきっかけとなる交流会を実施した。外国人学習者は、交流会を通して達成感や更なる自信につなげることができた。

日程:8月30日、10月21日、12月20日(中止)、2月28日(中止)

場所:さたけん家、ケープコッド

参加者:延べ38人

③ シンポジウム「日本語交流活動宣言×多文化つくたべプロジェクト～令和時代のおせち料理を考える～」

「日本語交流活動宣言」を地域に発信し、地域日本語教育への理解を広めるために、シンポジウム開催を予定していた。感染症拡大予防のため中止となったが、この事業目的を果た

すべく、「日本語交流活動宣言」を多言語翻訳(日本語・英語・中国語・韓国朝鮮語・ベトナム語)したリーフレットや本事業の成果物として作成した「つくたベレシピ集」を協会ボランティアや関係各所に配布して、広報活動を行った。

(4) 「やってみなはれ★in SUITA」(中島記念国際交流財団助成金事業)

多様な文化的背景を持つ在住留学生(吹田市近隣在住、吹田市近隣大学等に在籍)が、地域を第2のふるさととして感じてもらうことで、日本社会への理解を深め、生活になじむことを目的とした事業を実施しました。新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため、当初予定していた企画のほとんどは中止となり、オンラインを併用して実施にしました。しかし、本事業を通してこれまで協会にとっては活動が展開できていなかった市南部地域の各種団体(JR 旭通商店街組合、高浜神社、地域団体など)と連携することが可能となりました。

日程:

①12月2日(水)

たこ焼き体験(旭通商店街「粉武士」)と茶道体験(浜屋敷、和ごころ(ボランティアグループ))

②12月3日(木)14:00~15:15

オンラインセミナー「日本人の宗教観について」

講師:村上辰雄(上智大学国際教養学部准教授)

③1月17日(日)

オンライン交流会「元留学生による日本で会社で働くこと、キャリアデザインを考える」

ファシリテーター:イブラギモブ・ショハルフベック

参加者:延べ36名(留学生5名、その他外国人4名、地域住民11名、大学関係者その他10名)

5. その他の外国人への支援

(1) ハロハロ SQUARE(外国にルーツを持つ子どもの学習支援事業)(吹田市補助金事業)

外国にルーツをもつ小学生~高校生の学習支援を実施しました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題をボランティアらと一緒に学習しました。子どもたちが安心できる居場所となるよう学習以外にも、ボランティアと受験や学校生活について話をしたり、ゲームタイムやお楽しみ会の実施もしました。オンラインを併用しながら活動を実施しました。参加費は、コロナ禍で人数を制限するなどしたこともあって、令和2年度は無料と

しました。本事業は、大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業です。

(※4月10日(金)~6月12日(金)は、緊急事態宣言のため事業を中止しました。)

日程:6月19日(金)~3月19日(金)(全35回)

(対面:22回、オンライン:13回)

参加者：ボランティア 22 人（延べ 289 人）

外国にルーツをもつ子ども：15 人（延べ 306 人） 中学生 3 人、小学生 12 人

- ・ボランティア Zoom 練習会

日程：7 月 29 日

- ・夏休み自習室（オンライン）：

日程：8 月 3 日～8 月 17 日（全 5 回）

（2）帰国・渡日児童生徒支援事業（自主事業）

「多言語 進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力しました。

実行委員会日程：6 月 29 日、9 月 25 日、11 月 18 日

開催日：10 月 18 日（※市ごとにオンラインを併用して実施）

参加者：吹田市内在籍生徒 7 名、保護者 8 名、通訳 5 名、教員 6 名、市教委 2 名、
SIFA 職員 2 名

主催：大阪府教育庁、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業三島地区実行委員会

（3）子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」（吹田市補助金事業）

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、お互いに共感したり情報共有ができる交流の場をつくりました。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアも多く参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、折り紙など季節の行事も盛り込んだ活動をしました。

日程：9 月 16 日（水）、10 月 7 日（水）、11 月 4 日（水）、12 月 2 日（水）、3 月 3 日（水）

（予定：全 8 回、うち 3 回、コロナのため中止）

場所：SIFA、ラコルタ（オンラインを併用）

参加者：外国人親子 延べ 11 組、ボランティア 延べ 12 名

（4）行政情報などの提供（自主事業）

在住外国人にも日本人と同じように行政などの情報が届くように、外国人向け多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」などを活用して、必要な情報をやさしい日本語や、英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語など多言語で提供しました。

配信：49 回、登録者数：356 人

（5）使える日本語（自主事業）

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を行いました。学習者が 5 名以上集まれば開講としています。緊急事態宣言の影響があったため、9 月開講に変更し、対面で授業を実施しました。感染拡大とともにオンラインへ切り替え、3 月最終回だけは対面授業を実施し

た。

日程:全 29 回 (9/2~3/17) ※1学期はコロナの為、中止

場所:SIFA / オンライン 学習者:延べ 160 名

IV SIFA賛助会員

協会事業への支援、協力を得るために賛助会員を募り会費の確保に努めました。

個人会員	510名 (521口)
外国人会員	96名 (96口)
法人会員	11 法人 (11 口)
合計	(628 口)

V その他

【参加・協力】

CARES-Osaka (SUCCESS) コンソーシアム運営委員会

大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議

大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議

大阪府自治体国際化推進連絡会議

大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議

大阪大学国際公共政策学科:国籍居住者の支援に関するインタビュー調査への協力

大阪大学医学系保健学専攻研究:在日中国人母親の防災意識研究への調査協力

関西大学留学生別科入学式・修了式

関西大学外国語教育学研究科:地域日本語教室に関する研究への協力

関西大学外国語学部専門教育課程「専門演習」:情報保障と言語権に関する調査への協力

甲南女子大学多文化コミュニケーション学科行動演習:学生受け入れ

立命館大学サービスラーニングセンター交流サロン:ブース参加

吹田市立南千里中学校 国際交流授業への講師派遣

吹田災害支援ネットワーク会議(主催:吹田市社会福祉協議会)

千里ニュータウンプラザ連絡会議

東大阪市人権文化部多文化共生・男女共同参画課視察:視察受け入れ

吹田市立片山中学校とケニア・エンブ中学校の学生オンライン交流会

【研修参加】

外国人相談窓口の運営(全国市町村国際文化研究所)

相談員・通訳者向研修会(大阪府国際交流財団)

やさしい日本語研修(大阪府国際交流財団)

活動ボランティア向け Zoom 研修(外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪)

「大阪市内の小中学校における外国につながる児童生徒の現状や支援制度及び今後の取り組みについて」および事例研究会(外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪)

【取材】

「手作りマスク 和の彩り:吹田・紺野さん 市国際交流協会に200枚越」朝日新聞(4月7日)

【理事会・評議員会など】

(1) 理事会

・第1回通常理事会:令和2年5月29日(みなし決議)

議案第1号 令和元年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算の承認について

議案第2号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書の承認について

議案第3号 協会伊藤理事からの辞任届に伴う補欠理事候補者の推薦について

議案第4号 令和2年度協会定時評議員会の招集について

報告第1号 基本財産の運用替えについて

・定時評議員会:令和2年6月14日(みなし決議)

議案第1号 令和元年公益財団法人吹田市国際交流協会決算の承認について

議案第2号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書の承認について

議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事1名辞任に伴う補欠理事選任について

報告第1号 令和元年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について

・第1回臨時理事会:令和2年10月25日

報告第1号 理事長および副理事長職務執行状況について

・第2回通常理事会:令和3年3月8日

議案第5号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について

議案第6号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について

議案第7号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第8号 評議員選定委員会発足と外部委員選任(案)について

議案第9号 令和2年度公益財団法人吹田市国際交流協会第1回臨時評議員会の招集について

議案第10号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について

報告第2号 理事長及び副理事長職務執行状況報告

・第1回臨時評議員会:令和3年3月22日

議案第4号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について

議案第5号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算(案)について

議案第6号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて

報告第1号 評議員選定委員会の発足と外部委員選任について

報告第2号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について

(2) 公認会計士による決算監査の実施

・令和元年度決算監査:令和2年5月15日

(3) 監事監査の実施

・令和元年度決算監査:令和2年5月19日

(4) 大阪府立入検査

・大阪府総務部法務課公益法人グループ立入検査:令和2年9月24日

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年 5月
公益財団法人 吹田市国際交流協会